

《担当者名》 神田 直樹 kanda@hoku-iryo-u.ac.jp 高橋 啓太

【概要】

成人病態と臨床実践の学びを発展させ、救命救急センターや集中治療室などに入室している生命危機状態にある患者や家族への援助を学ぶ。また、重症患者の特徴的病態や症状、急変時対応の基本や災害発生時の初期医療対応について学ぶ

【学修目標】

1. クリティカルケアの対象となる患者の特徴的な病態メカニズムと生命危機状態にある患者への必要な援助について説明することができる。
2. クリティカルケアにおける家族援助と看護師の役割・具体的な支援について説明することができる。
3. クリティカルケアの対象となる患者のアセスメントについて説明できる。
4. 急変時の対応と一次救命処置技術を修得できる。
5. 災害時における災害医療の特徴と被災者支援活動について説明することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	クリティカルケアの概念と看護	クリティカルケアが提供される場と対象 クリティカルケアの対象とする患者・家族の特徴	神田
2	クリティカルケアに必要なマネジメント	クリティカルケアにおける安全管理 クリティカルケア看護とチーム医療 意思決定支援と倫理的問題	神田
3	重症患者管理と看護	重症患者の生体侵襲とケア 重症患者のマネジメントとケア（鎮痛・鎮静・せん妄） 重症患者の栄養管理	高橋
4	急性呼吸機能障害と看護	急性呼吸不全の指標とアセスメント 急性呼吸不全・ARDSの理解 人工呼吸器装着患者の看護と合併症予防	高橋
5	急性循環機能障害と看護	循環不全の指標とアセスメント ショックの分類と看護 ショックを引き起こす代表的疾患・症状の理解	高橋
6	体液管理・代謝障害と看護	体液バランスの異常と看護 ショックによる体液分布変化の理解 酸塩基平衡の理解と看護ケア	神田
7	凝固線溶系障害・多臓器障害と看護	播種性血管内凝固の病態生理とアセスメント 敗血症の病態生理とアセスメント 播種性血管内凝固・敗血症患者の治療と看護ケア	高橋
8	呼吸・循環機能障害患者のモニタリングと臓器機能補助療法	呼吸機能評価のモニタリングとアセスメント 循環機能評価のモニタリングとアセスメント 事例を用いたアセスメントと看護の実際	神田
9	救急医療における看護	我が国の救急医療システム 救急看護における患者・家族の特徴と看護援助	神田
10	外傷患者の看護	主な外傷の特徴と治療 外傷患者のアセスメントと看護ケア	神田
11	重症熱傷患者の看護	重症熱傷患者の特徴と治療 重症熱傷患者のアセスメントと看護ケア	高橋
12	急性中毒患者の看護	主な急性中毒患者の特徴と治療 急性中毒患者のアセスメントと看護ケア	神田
13	急変対応と心肺蘇生	致死性不整脈の理解と対応 一次救命処置と二次救命処置の理解 院内での急変時対応	高橋/神田

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14	急変対応と心肺蘇生	患者急変時の看護師の役割と対応 AHAガイドラインの理解	高橋/神田
15	災害医療と看護	我が国の災害医療体制と看護師の役割 トリアージの概念と実際 DMAT看護師の役割	神田

**【授業実施形態】**

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

定期試験100%

**【教科書】**

成人看護学 急性期看護 クリティカルケア改訂第4版 南江堂

**【参考書】**

ICUビジュアルナースィング改訂第2版 学研メディカル秀潤社

**【備考】**

Google classroomにて予習課題や復習課題を提示します

**【学修の準備】**

- ・講義に関連する部分の教科書を熟読して授業に臨むこと（30分）
- ・講義終了後、提示された復習課題に取り組むこと（30分）

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

**【ICTの活用】**

適宜、Google Formを活用し、学生の理解度を把握する

**【実務経験】**

神田直樹（看護師） 高橋啓太（看護師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

病院での看護師としての経験から実践的教育を行う